

新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン（石川県立盲学校版）

1 健康観察

1. 登校前に自宅で検温と風邪症状の確認をする。
※発熱等の風邪症状がある場合は、登校せず自宅休養する。
発熱がなくても、普段より体調が悪いと感じたら、登校を控える。
2. 登校時に玄関でアルコール消毒をして、健康チェック表を提出する。
※健康チェック表を忘れた場合は、玄関で検温する。

2 感染予防対策

1. 次の6つのタイミングで手洗いやアルコール消毒をする。
・教室に入る時 ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時 ・食事の前後
・掃除の後 ・トイレの後 ・共有のものを触った時
2. 身体的距離を確保する…できるだけ2 m（最低1 m）
3. マスクを着用する（体育や熱中症の危険性がある場合は距離を確保し外してよい）。
4. 教室等は廊下側の窓を常時開ける。
5. 休み時間ごとに外側の窓を開けて換気する。
6. 正面玄関の冷水器、水分補給器、タオル等は共有しない。
7. 着替えの際は、男子は教室、女子は更衣室を少人数（最大2人ずつ）で使用する。
8. 各教室のドアや窓の取っ手、電気スイッチ、階段手すり等児童生徒が触れる部分は教職員が1日1回以上、利用状況に応じて消毒する。
9. 共有する物品を使用する際は、教職員が物品の消毒をする。
10. 清潔なハンカチ、ティッシュ、マスク、マスクを保管する袋、水筒を持参する。

3 給食

1. 食事の前に手洗いとアルコール消毒をする。
2. 座席は向かい合わせにせず、隣と一つ席を空けて座る。会話は控える。
3. 配膳とテーブル拭きは当面の間、炊事職員が行う。

4 感染リスクの高い学習活動について

「用具の消毒」「手洗い指導の徹底」「体調に不安のある児童生徒の不参加を認める」
この3点に留意して、以下の活動を行う。

- ・グループワークやペアワーク
- ・合唱、管楽器演奏
- ・実験、観察
- ・共同制作、観賞、調理実習
- ・接触を伴う運動

※部活動は当面中止とする。

5 スクールバス

1. 自宅で検温と風邪症状の確認をする。
2. 風邪症状がある場合は乗車できません。（自宅休養）
3. マスクを着用し、乗車前にアルコール消毒と健康チェック表を提示する。
4. 一ブロックに一人とし、隣との間隔をあけて座る。会話は控える。
5. 運行中、適宜換気を行う。

6 保護者との連携

1. 家庭における感染予防の徹底し、手洗いやアルコール消毒を実施する。
2. 家庭との連携による体調管理を行う。無理に登校させない。
3. 心配や不安がある場合は、学校や各自治体の相談窓口相談するよう伝える。

7 偏見、差別に関すること

1. 感染者、濃厚接触者、新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者や社会機能の維持にあたる方とその家族等に対する偏見や差別につながるような行為は許されないと指導を徹底する。

～参考 厚生労働省 「新しい生活様式」の実践例～

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）** 空ける。
- 遊びに行くなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養


外出控え


密集回避


密接回避


密閉回避


換気


咳エチケット


手洗い

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない